

授業科目名： 社会科・公民科の教育	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 4単位	担当教員名： 外池 智 担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校社会科の現行の学習指導要領について、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の各分野の単元構成を理解し、説明できる。 ・ 戦後の社会科の学習指導要領の変遷について、その基本的特色を理解し、説明できる。 ・ 中学校社会科の授業づくりを通じて指導案を作成するとともに、それに沿った模擬授業を通じて授業実践力を身につける。 			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本講義は、中学校社会科の教職免許取得にかかわる授業である。プリントを配布し、それをテキストとして講義を進める。参加人数によるが、中学校地理・歴史・公民の各分野に分かれ、グループごとに実際の中学校の社会科を想定し授業づくりをしたい。随時、意見交換や討議をしたい。 ・ 今日の学校が抱える問題を考察し、戦前戦後の社会科系教科の歴史を踏まえ、社会科教育が当面する諸課題について、主に中学校や高等学校を中心に考察する。 ・ 中学校社会科教育及び高等学校公民科に関する学習指導要領を中心とした変遷と特色理解し、実際の中学校における具体的授業を想定した授業デザインとその実践を試みる。 			
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション、履修確認</p> <p>第2回：スケジュール確認、社会科の教育課程上の位置付け</p> <p>第3回：社会科の目標と内容</p> <p>第4回：平成20年度版学習指導要領の特色</p> <p>第5回：地理的分野の目標と単元構成</p> <p>第6回：歴史的分野の目標と単元構成</p> <p>第7回：公民的分野の目標と単元構成</p> <p>第8回：指導案の作成（単元の設定と単元の目標）—ICT機器の活用による</p> <p>第9回：指導案の作成（全体計画）—ICT機器の活用による</p> <p>第10回：指導案の作成（本時の展開）—ICT機器の活用による</p> <p>第11回：指導案の検討（単元の設定と単元の目標）</p> <p>第12回：指導案の検討（全体計画と本時の展開）</p>			

第13回：模擬授業（地理的分野）
第14回：模擬授業（歴史的分野）
第15回：模擬授業（公民的分野）
第16回：模擬授業の振り返り
第17回：実践紹介（「一本のバナナから」）
第18回：実践紹介（「課外授業 ようこそ先輩」）
第19回：中学校学習指導要領の変遷（社会科の新設）
第20回：中学校学習指導要領の変遷（その後の変遷）
第21回：授業技術（発問）
第22回：授業技術（板書）
第23回：授業技術（机間指導）
第24回：指導案の作成（単元の設定と単元の目標）—ICT機器の活用による
第25回：指導案の作成（全体計画）—ICT機器の活用による
第26回：指導案の作成（本時の展開）—ICT機器の活用による
第27回：指導案の検討（単元の設定と単元の目標）
第28回：指導案の検討（全体計画と本時の展開）
第29回：模擬授業（歴史的分野）
第30回：模擬授業（地理的分野、公民的分野）
定期試験

テキスト

- ・文科省『中学校学習指導要領解説 社会編』（東洋館出版社、2017年）
- ・文科省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（発行予定）

参考書・参考資料等

- ・日本社会科教育学会編『社会科教育事典』（ぎょうせい、2000年）
- ・日本社会科教育学会出版プロジェクト編『新時代を拓く社会科の挑戦』（第一学習社、2006年）
- ・日本社会科教育学会編『社会科授業力の開発 中学校・高等学校編』（明治図書、2008年）

学生に対する評価

授業中の課題（30点）、指導案作成（30点）、模擬授業（40点）。授業への参加状況、報告などを総合的に評価する。